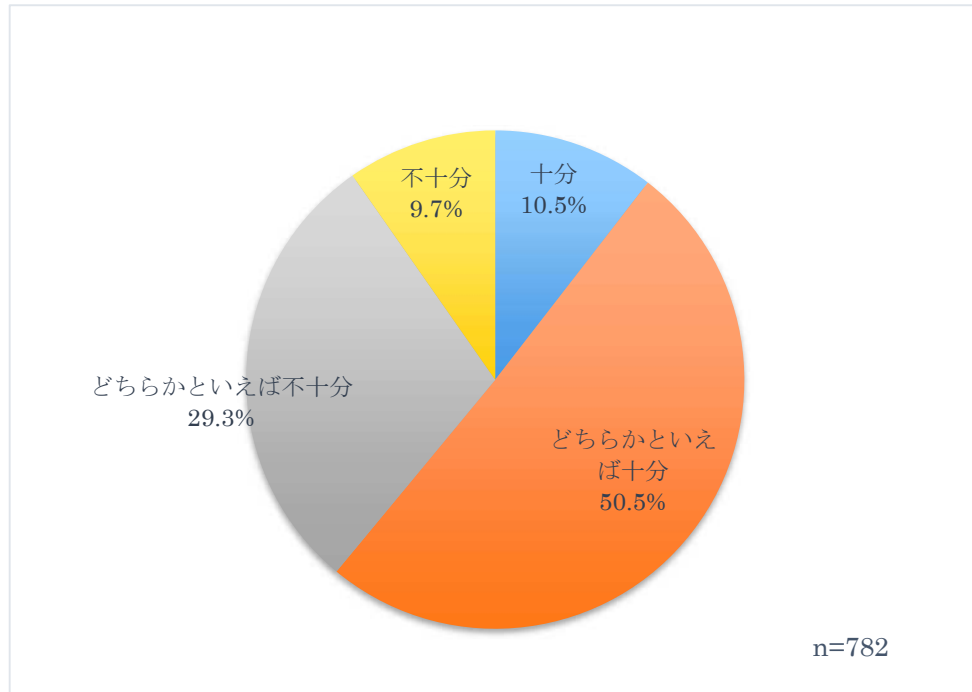


問 40. 恵庭市のホームページや SNS による情報発信の充実度について（一つだけ選択）

- ・ ホームページや SNS による情報発信の充実度について、どのように感じるかについては、「どちらかといえば十分」が 50.5%で最も多かった。
- ・ 十分と感じている側は合計で 61.0%であり、「不十分」9.7%、「どちらかといえば不十分」を合わせても 39.0%であり、十分と感じている側が大きく上回った。

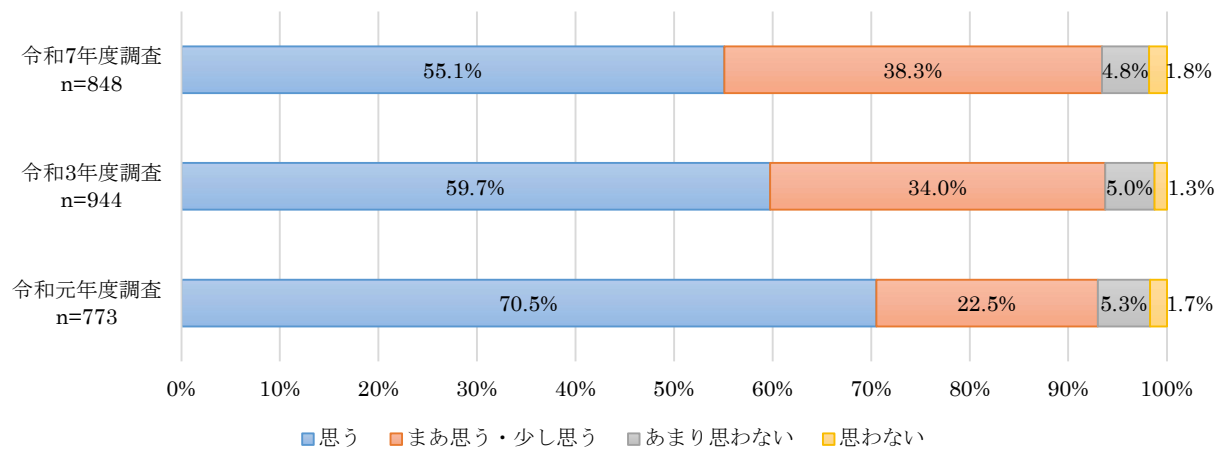


恵庭市のホームページや SNS による情報発信の充実度について

8) 水道・下水道について

問 41. 水道水の安定供給が行われていると思うか（一つだけ選択）

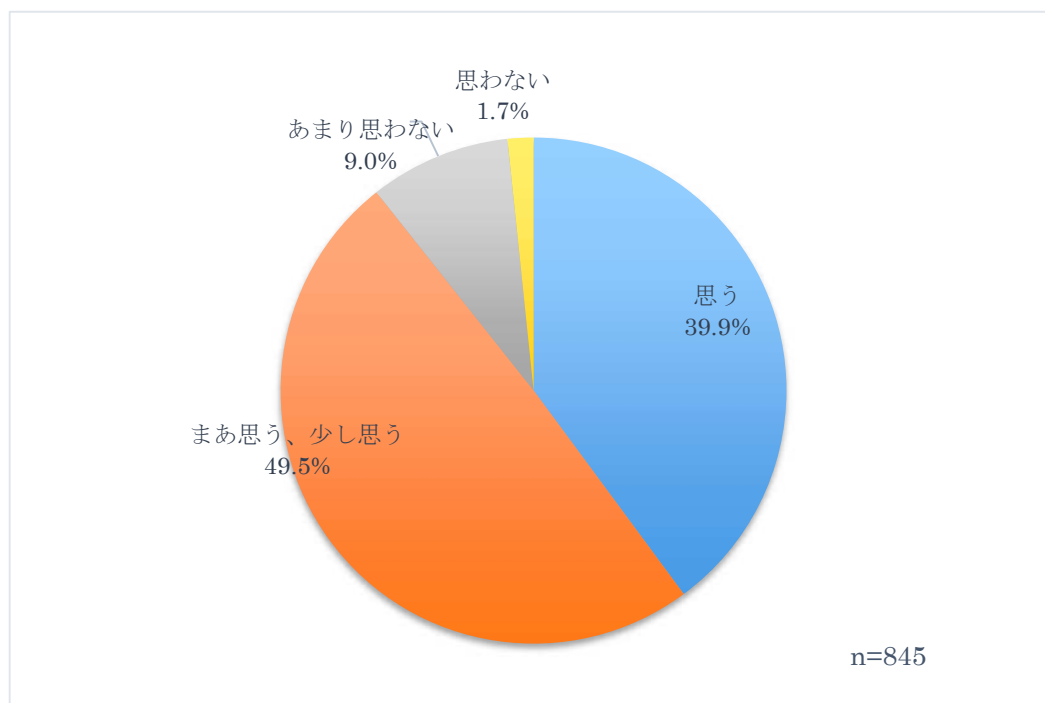
- ・ 水道水の安定供給が行われていると思うかについては、「思う」が 55.1%で最も多く、次いで「まあ思う・少し思う」が 38.3%であった。
- ・ 「あまり思わない」は 4.8%、「思わない」は 1.8%しか見られず、この結果は、恵庭市が水道水の安定供給に関して、市民から非常に高い信頼を得ていることを示している。



水道水の安定供給に対する満足度
(3 カ年での経年比較)

問42. 大雨時においても安全・安心な生活が確保されていると思うか（一つだけ選択）

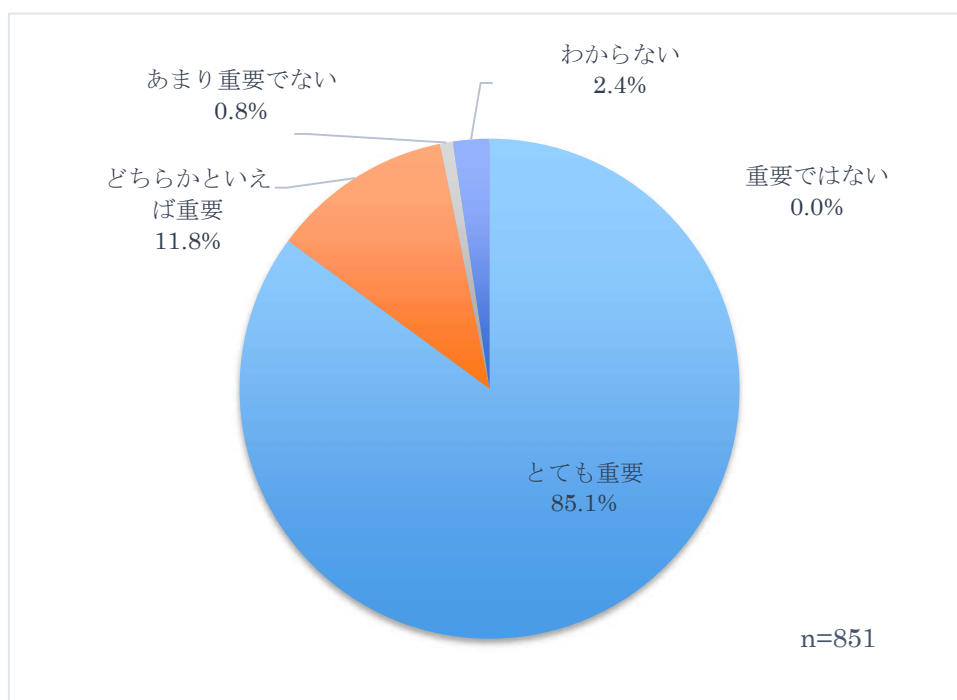
- ・ 大雨時においても安心・安全な生活が確保されていると思うかについては、「思う」が39.9%、「まあ思う・少し思う」が49.5%であり、合計すると89.4%となった。
- ・ 「あまり思わない」は9.0%、「思わない」は1.7%であった。



大雨時においても安全・安心な生活が確保されていると思う市民の割合

問43. 良好な水環境を保つことの重要性についてどう考えるか（一つだけ選択）

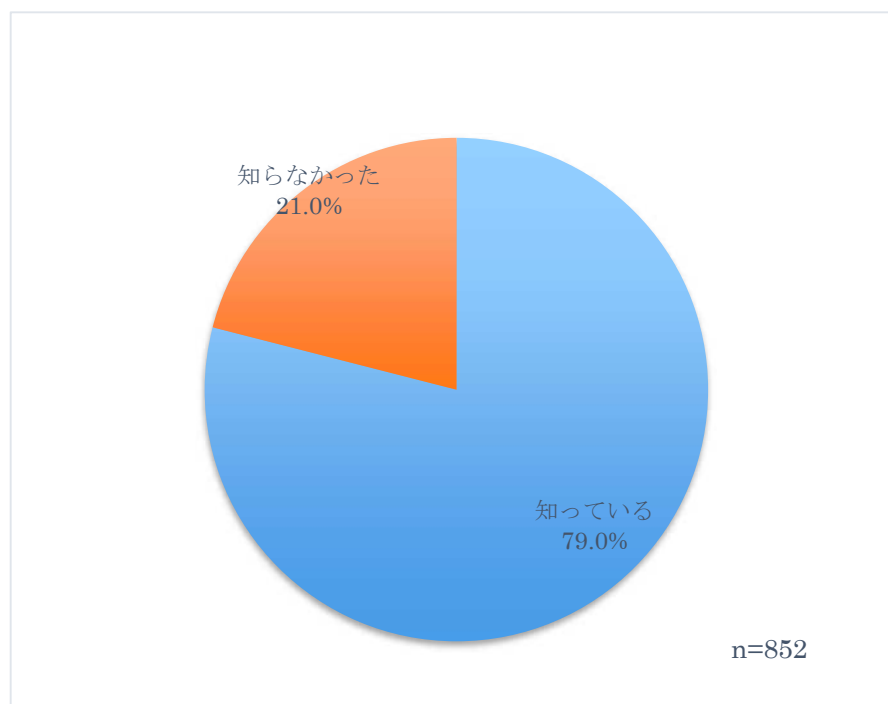
- ・ 清潔で快適な暮らしを送る上で、良好な水環境（安定的な水供給や適切な下水処理）を保つことの重要性についてどう考えるかについては、「とても重要」が 85.1%、「どちらかといえば重要」が 11.8%であり、合計すると 96.9%となり、良好な水環境を保つことを重視する回答が大多数だった。
- ・ 「あまり重要でない」は 0.8%、良好な水環境を保つことを重視しない回答は 1%以下だった。



良好な水環境を保つことの重要性についてどう考えるか

問44. 利用している水道や下水道が、水道料金や下水道使用料で運営されていることを知っているか。(一つだけ選択)

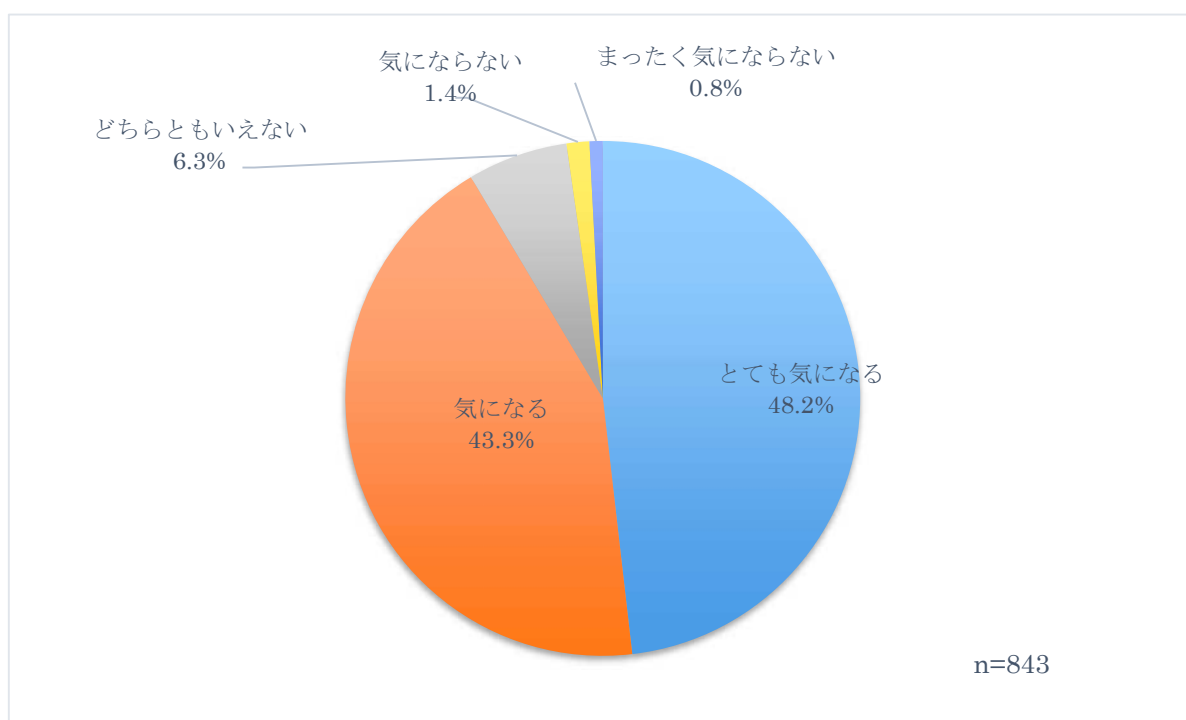
- ・ 恵庭市で利用している水道や下水道が、(一部の公的負担を除き) 水道料金や下水道使用料で運営(維持や整備)されていることを知っているかについては、「知っている」が79.0%、「知らなかった」が21.0%であった。



水道や下水道が、水道料金や下水道使用料で運営されていることを知っているか

問45. 恵庭市の「水道管・下水道管などの老朽化の状況」について気になりますか（一つだけ選択）

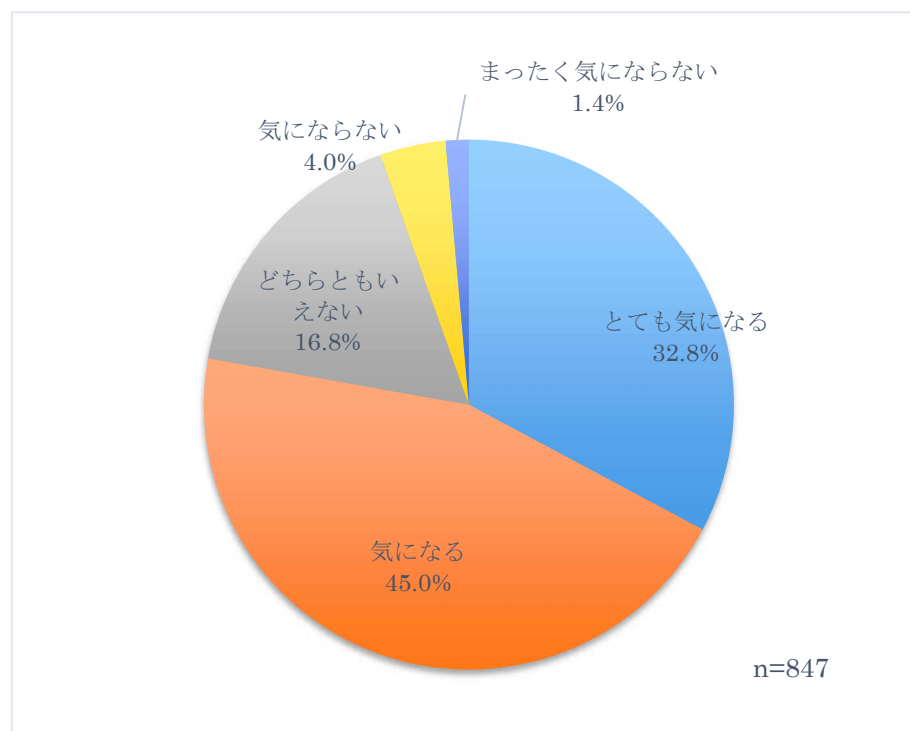
- ・ 恵庭市の上下水道施設の老朽化の状況について気になりますかについては、「とても気になる」が 48.2%、「気になる」が 43.3%であり、合計すると 91.5%となり、老朽化の状況について関心が高いとする回答が大多数だった。
- ・ 「気にならない」は 1.4%、「まったく気にならない」は 0.8%であり、気にならないという回答の合計は 2.2%だった。



恵庭市の上下水道施設の老朽化の状況について気になるか

問46. 恵庭市の「上下水道の経営状況」について気になりますか（一つだけ選択）

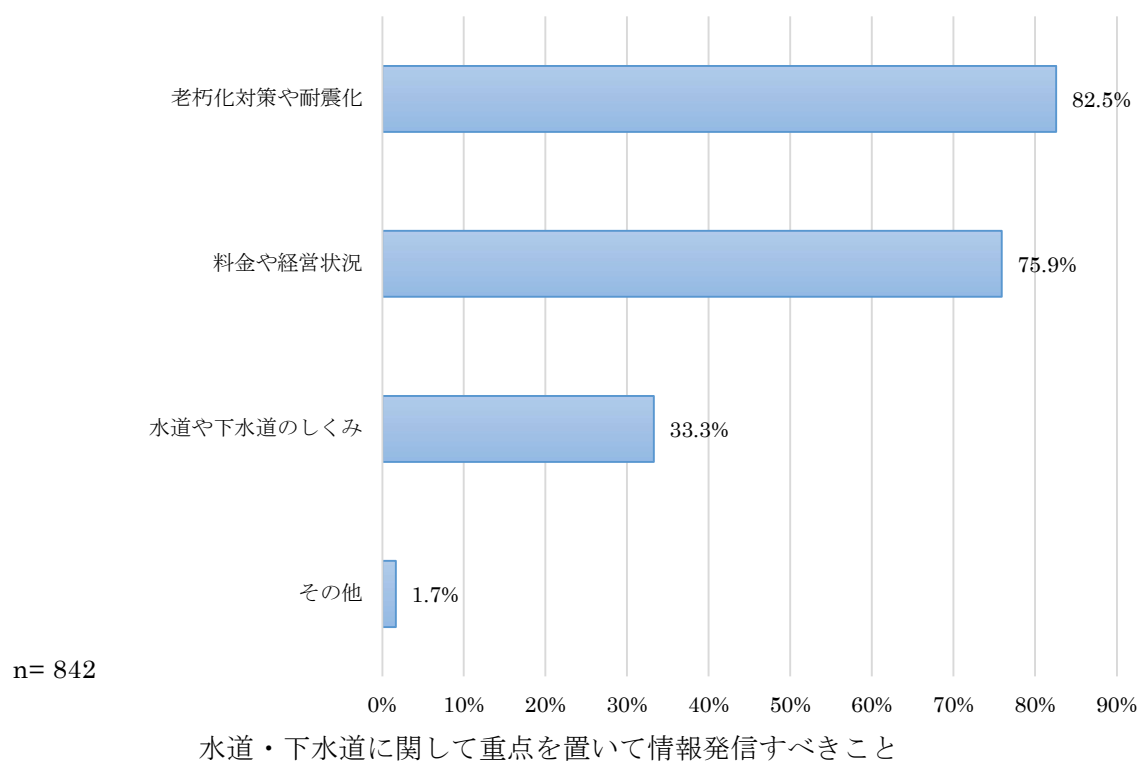
- ・ 全国的な「公共料金の値上げ」の報道がありますが、恵庭市の上下水道の経営状況（恵庭市の水道料金は平成 12 年度以降の 24 年間、下水道使用料は平成 20 年度以降の 16 年間、改正されていない）について気になりますかは、「とても気になる」が 32.8%、「気になる」が 45.0%であり、合計すると 77.8%となり、経営状況について関心が高い結果だった。
- ・ 「気にならない」は 4.0%、「まったく気にならない」は 1.4%であり、気にならないという回答の合計は 5.4%だった。



恵庭市の上下水道の経営状況について気になるか

問47. 水道・下水道に関して恵庭市の情報提供で重点を置いて情報発信すべきこと（すべて選択）

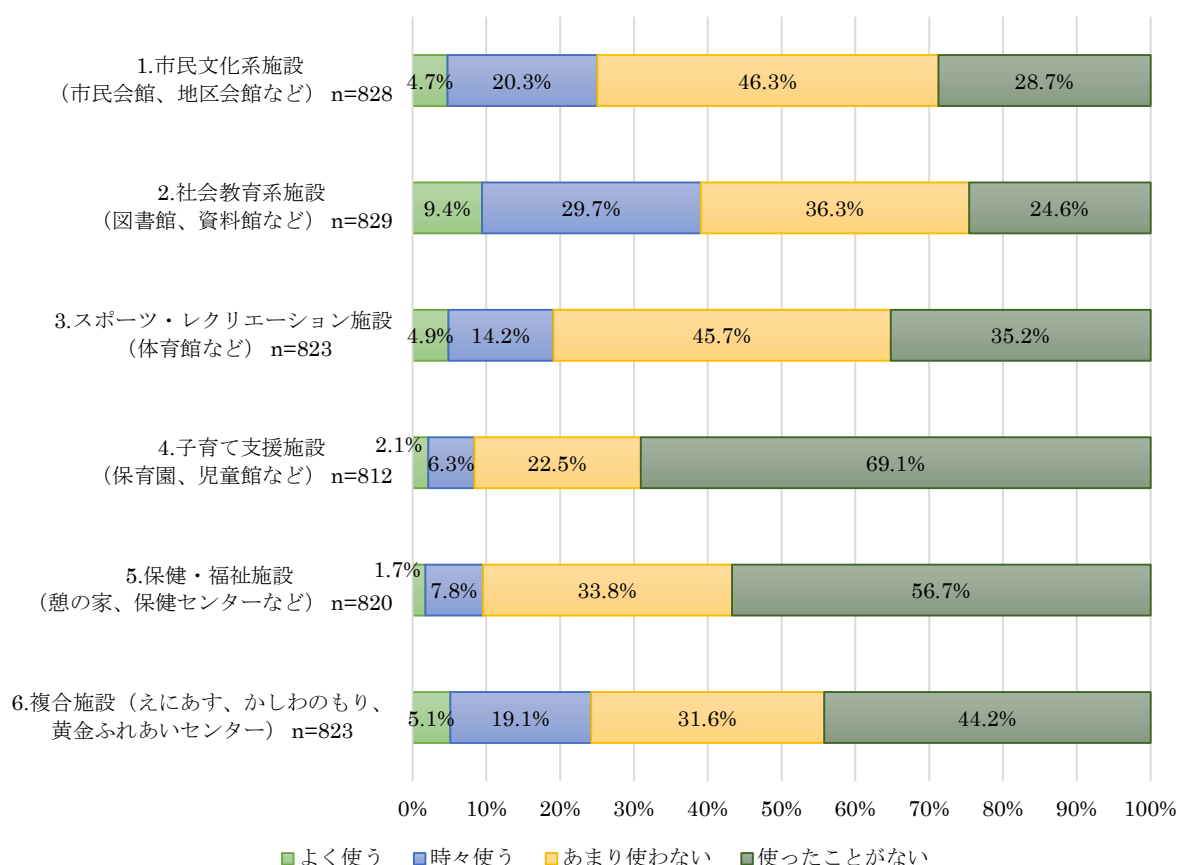
- ・ 恵庭市の広報課やホームページなどでの情報提供で重点を置いて情報発信すべきことについては、「老朽化対策や耐震化」が 82.5%で最も多く、「料金や経営状況」が 75.9%と 2 番目に多かった。
- ・ この結果は、市民が上下水道事業に対し、老朽化対策や耐震化、料金や経営状況に強い関心を持っていることを示唆している。



9) 公共施設について

問48. 公共施設の利用（一つだけ選択）

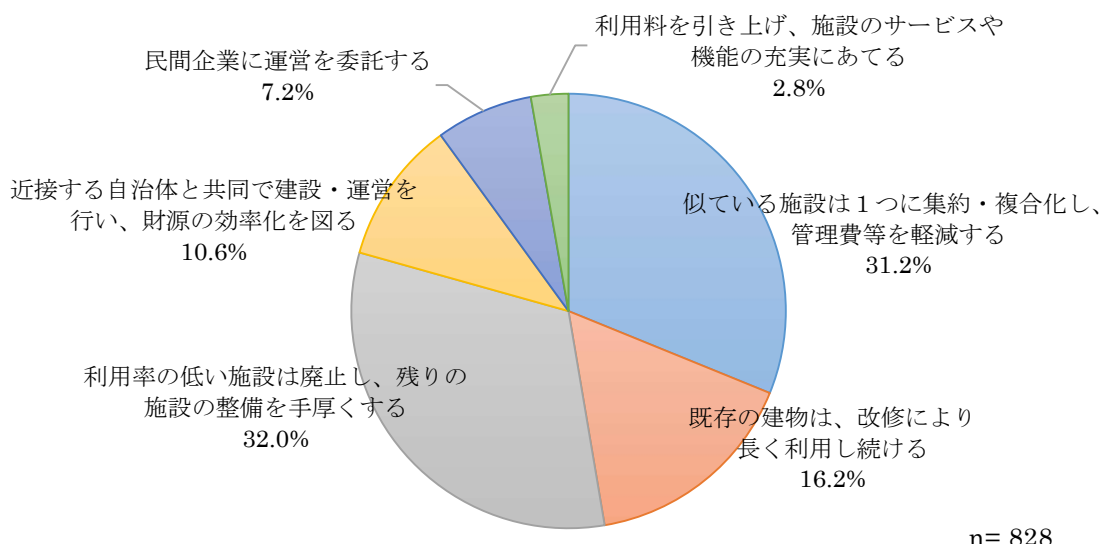
- ・ 恵庭市の公共施設の日頃の利用状況については、市民文化施設は「あまり使わない」が46.3%で最も多く、「使ったことがない」も28.7%と利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 社会教育系施設は、「あまり使わない」の36.3%が最も多いものの、次いで「時々使う」の29.7%が2番目に多く、設定した6つの公共施設のなかで「よく使う」と「時々使う」の全体に占める割合が最も多かった。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設は、「あまり使わない」が45.7%、「使ったことがない」も35.2%とほぼ同数を示し、利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 子育て支援施設は、「使ったことがない」が69.1%で最も多く、次いで「あまり使わない」が22.5%と、設定した6つの公共施設のなかで最も利用する人の割合が少なかった。
- ・ 保健・福祉施設は、「使ったことがない」が56.7%で最も多く、「あまり使わない」が33.8%と続き、利用する人の割合が少ない状況であった。
- ・ 複合施設は、「使ったことがない」が44.2%で最も多く、「あまり使わない」が31.6%と利用する人の割合が少ない状況であった。



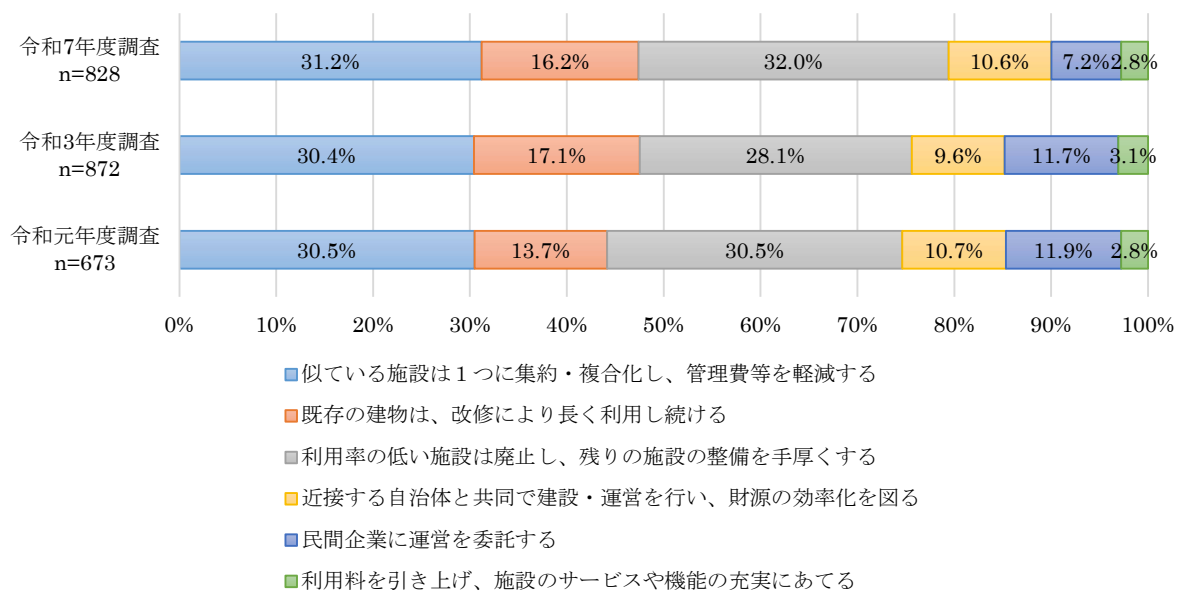
公共施設の利用状況

問49. 公共施設の維持と整備（一つだけ選択）

- ・ 既存の公共施設を維持するのが難しいなかで、どのように整備するのが望ましいかを聞いたところ、「利用率の低い施設は廃止し、残りの施設の整備を手厚くする」が 32.0%と最も多く、次いで「似ている施設は1つに集約・複合化し、管理費等を軽減する」が 31.2%と多かった。
- ・ 「利用料を引き上げ、施設のサービスや機能の充実にあてる」が 2.8%で最も少なかった。



公共施設の整備に関して望ましいと思う方法

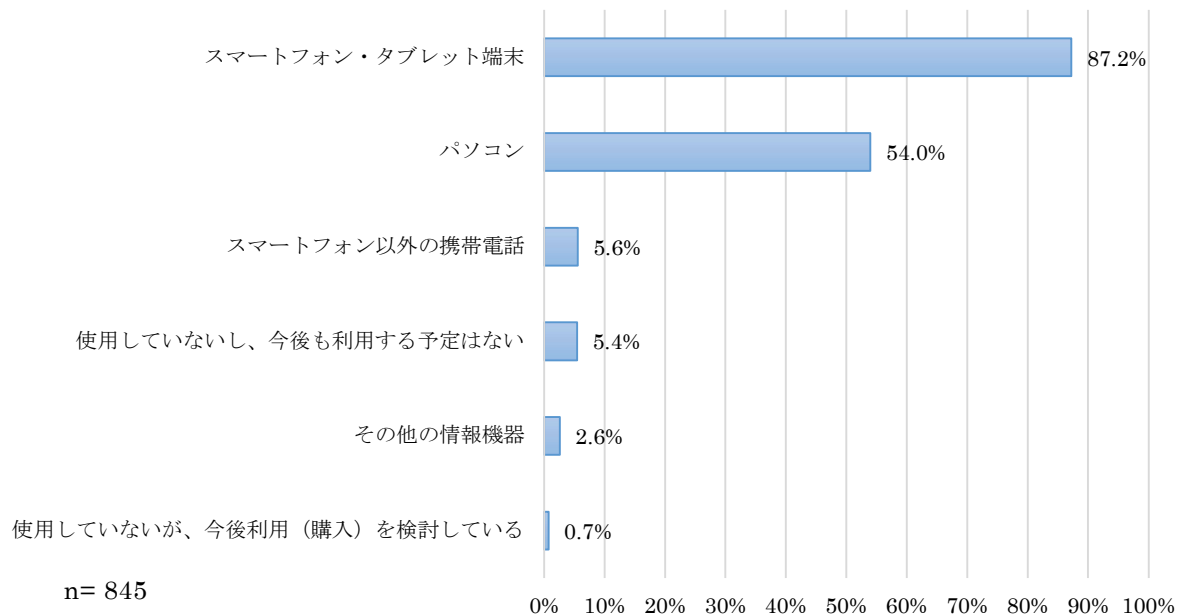


公共施設の整備に関して望ましいと思う方法（3カ年での経年比較）

10) 行政手続き・デジタル化・マイナンバーについて

問50. 使用できるインターネット情報機器について（すべて選択）

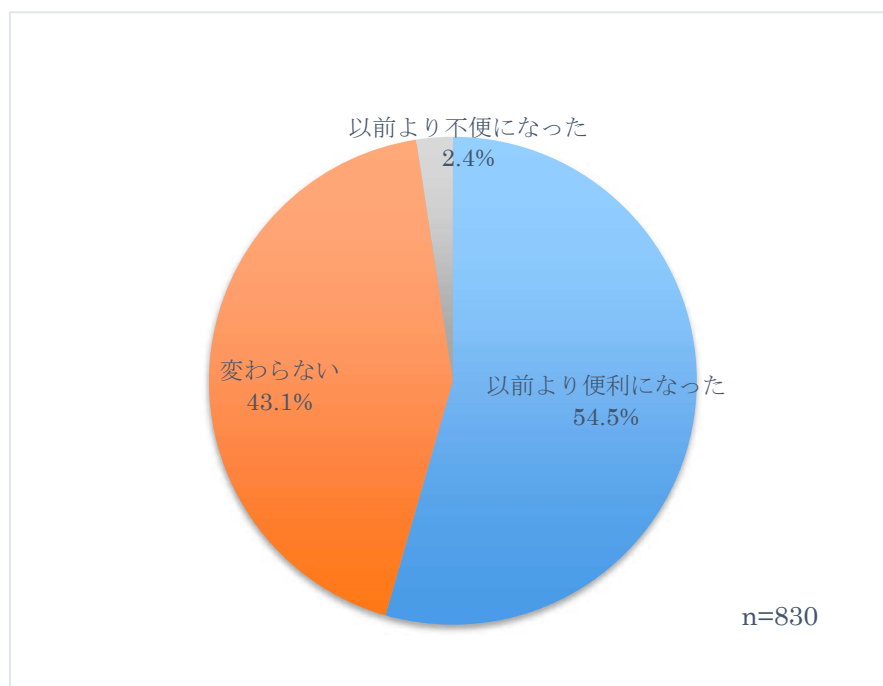
- ・ 自身で利用できるインターネット情報機器について聞いたところ、「スマートフォン・タブレット端末」が87.2%で最も多く、次いで多かったのが「パソコン」の54.0%だった。
- ・ 「使用していないし、今度も利用する予定はない」は5.4%、「使用していないが、今後利用（購入）を検討している」が0.7%だった。



自身で利用できるインターネット情報機器

問51. 恵庭市の ICT（情報通信技術）活用の推進で、手続きの利便性がよくなったと思うか（一つだけ選択）

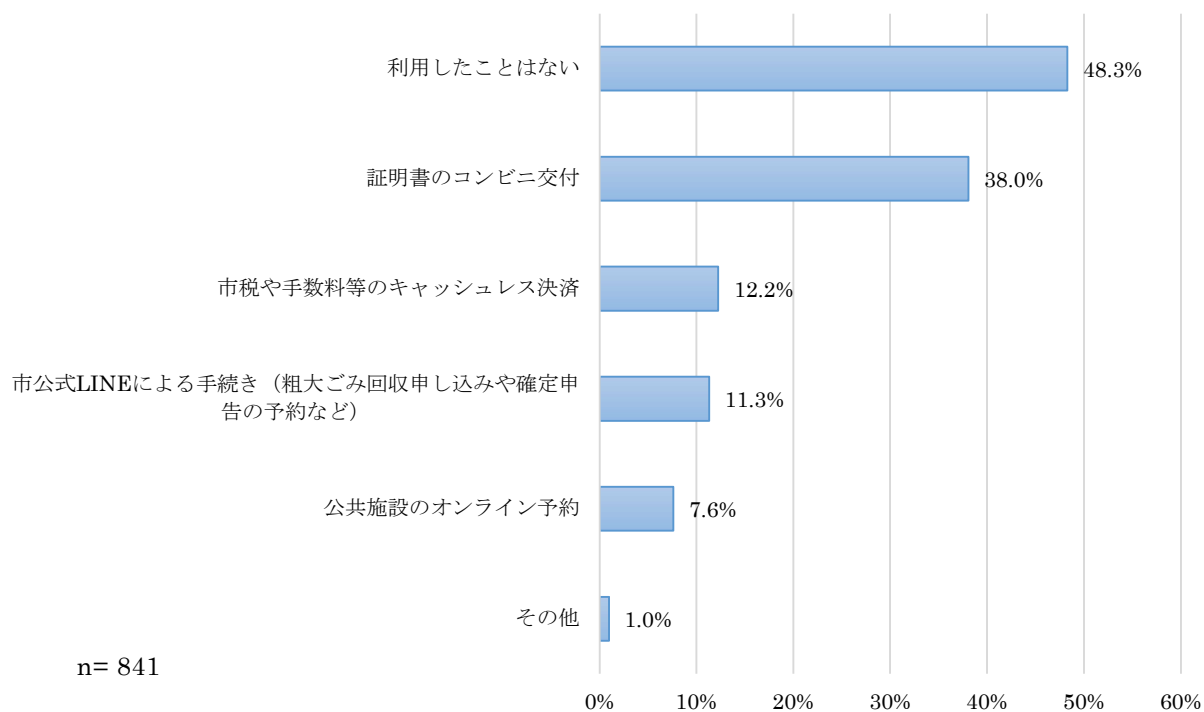
- ・ 恵庭市での、「書かない窓口」の導入や「証明書のコンビニ交付」、「市公式 LINE」を利用した行政手続きなど、ICT（情報通信技術）の活用推進で、市役所の手続きの利便性が向上したか聞いたところ、「以前より便利になった」が 54.5%で最も多かった。次いで多かったのが「変わらない」の 43.1%であった。
- ・ 「以前より不便になった」は 2.4%であった。



恵庭市の ICT 活用推進における手続きの利便性向上について

問52. 利用したことがある ICT を使った行政サービスは何か（すべて選択）

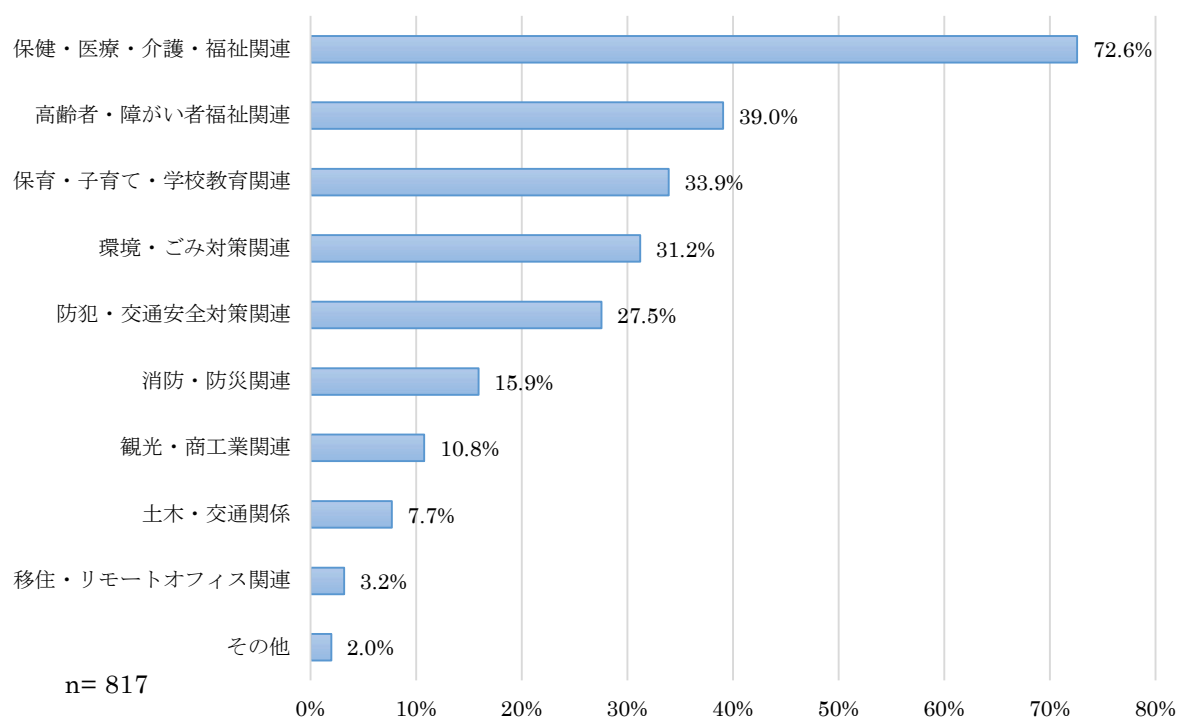
- ・ 利用したことがある ICT（情報通信技術）を使った行政サービスについては、「証明書のコンビニ交付」が 38.0%で最も多い結果となった。
- ・ 「利用したことはない」と回答した市民が 48.3%となった。



利用したことがある ICT（情報通信技術）を使った行政サービスは何か

問53. ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野（3つまで選択）

- ・ ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野について聞いたところ、「保健・医療・介護・福祉関連」が72.6%で最も多かった。
- ・ 「土木・交通関連」は7.7%、「移住・リモートオフィス関連」は3.2%と低く、経済分野より、福祉分野での利活用希望が多いことが分かった。



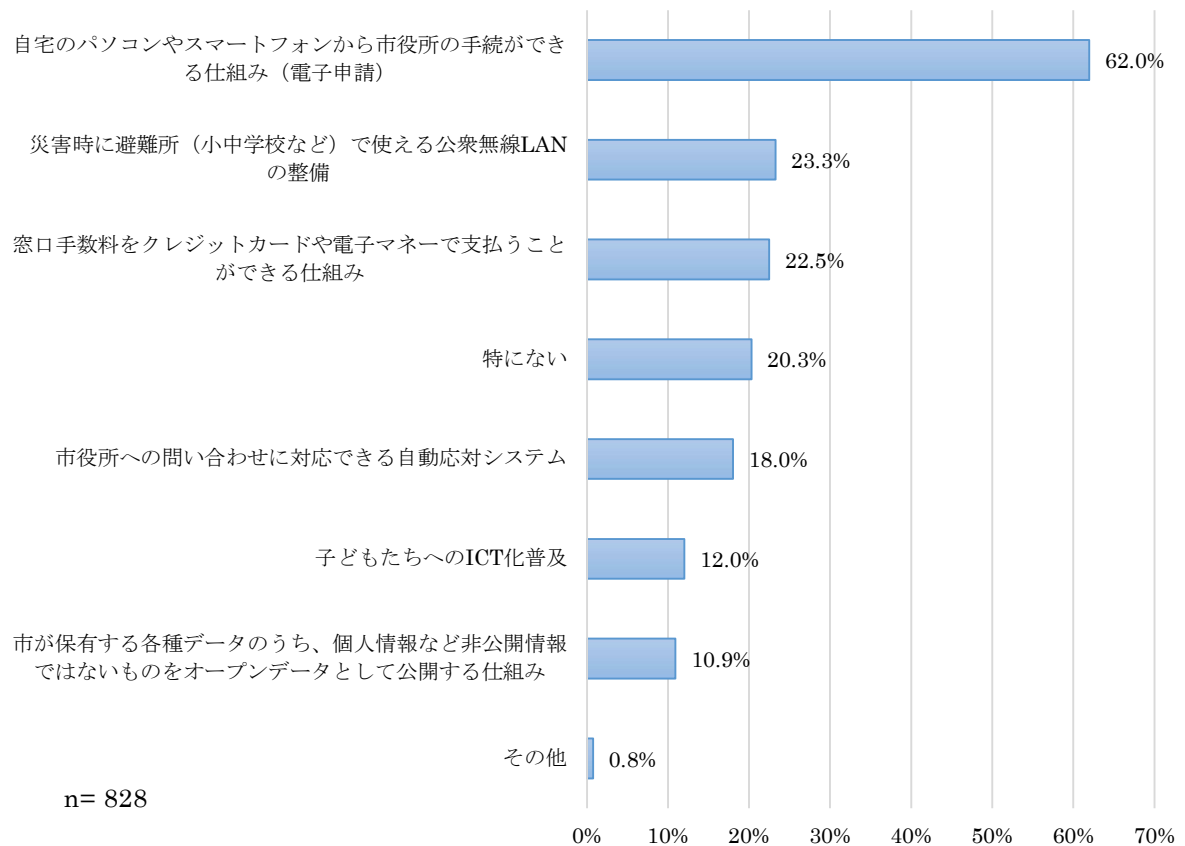
ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野

<その他の主な内容>

- ・ 「利用不可能な人への配慮が必要」など。

問54. 充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービス（すべて選択）

- ・ 充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービスについて聞いたところ、「自宅のパソコンやスマートフォンから市役所の手続きができる仕組み」が 62.0%で最も多く、次いで、「災害時に避難所（小中学校など）で使える公衆無線 LAN の整備」が 23.3%だった。



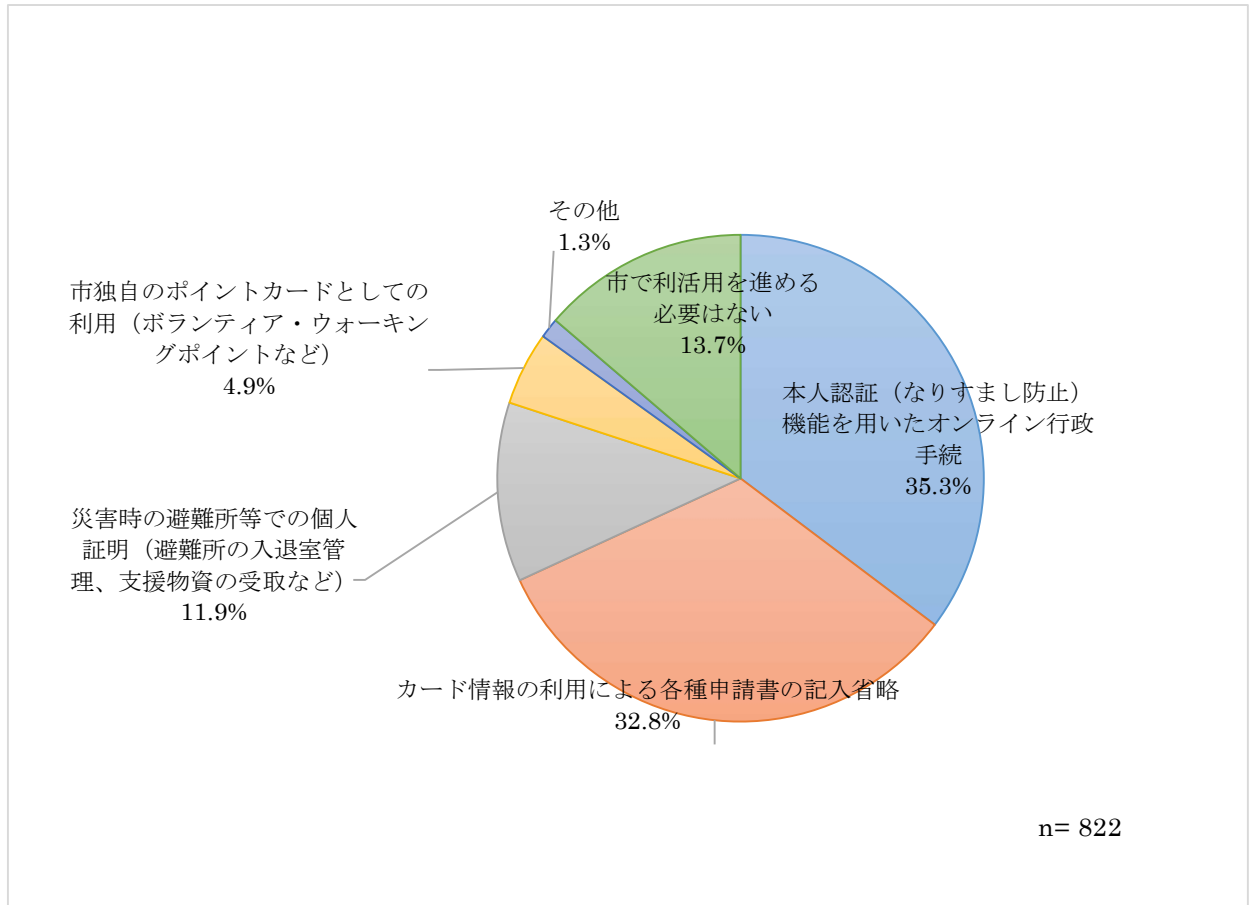
充実すべき ICT（情報通信技術）を使った行政サービス

<その他の主な内容>

- ・ 「(ICT) が使えない人はどうするのか」 など。

問55. マイナンバーカードの利活用（一つだけ選択）

- ・ ICT（情報通信技術）の利活用を期待する分野について聞いたところ、「本人認証（なりすまし防止）機能を用いたオンライン行政手続」が 35.3%で最も多く、次いで「カード情報の利用による各種申請書の記入省略」の 32.8%が多かった。
- ・ 「市で利活用を進める必要はない」は 13.7%で、回答者の全体の 1 割程度が市でマイナンバーカードの利活用を進める必要はないと思っていることがわかった。



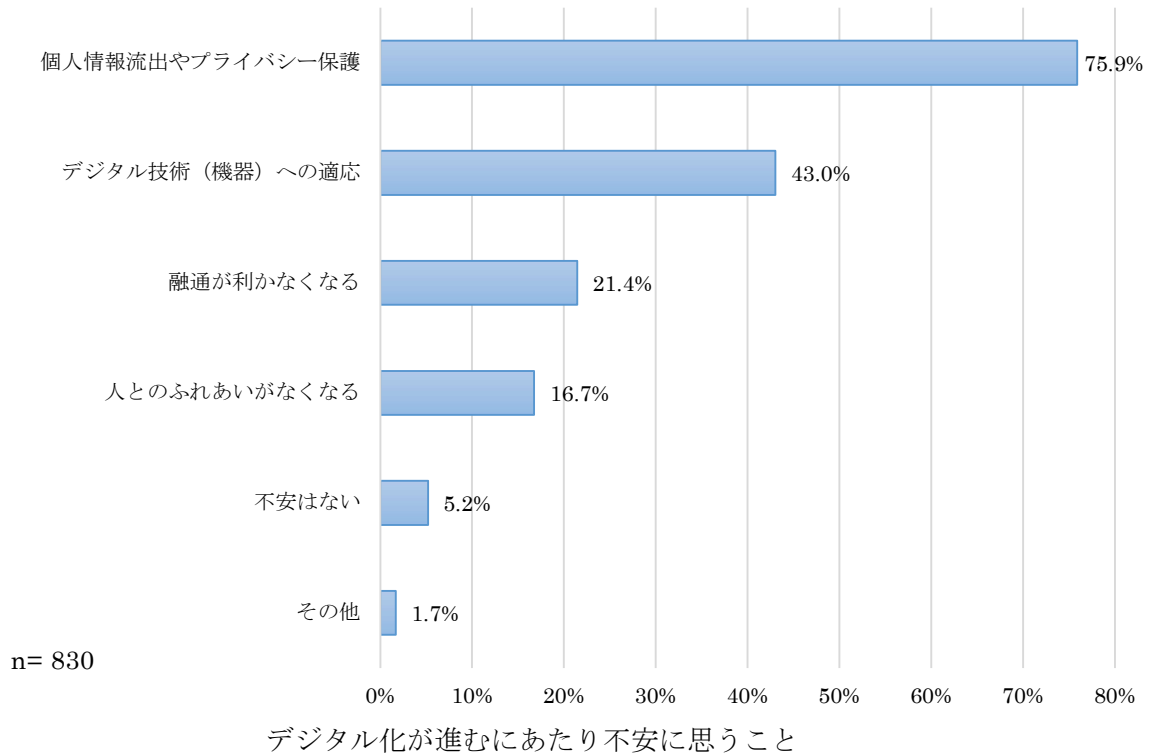
マイナンバーカードの利活用を優先して進めて欲しいこと

<その他の主な内容>

- ・ 「マイナンバーカードは不要」など。

問56. デジタル化が進むにあたり、不安に思うことは何か（すべて選択）

- ・ 社会や行政のデジタル化が進むにあたり、不安に思うことについて聞いたところ、「個人情報流出やプライバシー保護」が 75.9%で最も多く、2 番目に「デジタル技術（機器）への適応」の 43.0%が多かった。
- ・ 「不安はない」が 5.2%と小数な回答となっており、デジタル化が進むにあたり不安を感じる市民が潜在的に多いことを示唆している。

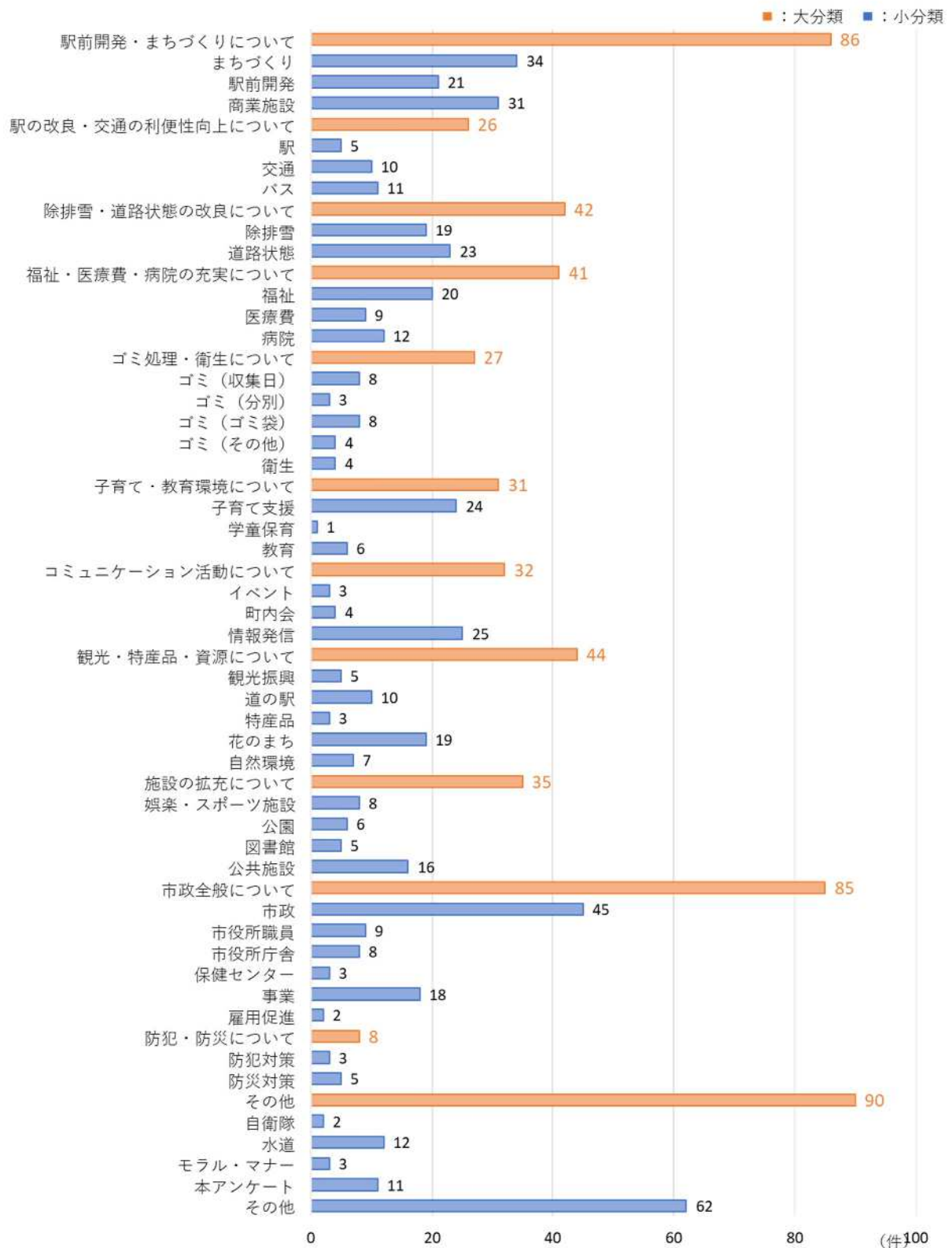


問57. 市政全般についての意見（自由回答）

- ・ 市政全般に関する自由意見では 571 件の回答が得られ、意見は大分類で 12 分類、小分類で 44 分類して集計を行った（内容が多岐にわたるものは、複数回答として処理）。
- ・ 大分類では「その他」を除くと、「駅前開発・まちづくりについて」の意見が 86 件と一番多く、次いで「市政全般について」の意見が 85 件と多かった。
- ・ 大分類で一番多かった「駅前開発・まちづくりについて」の中では、小分類「まちづくり」に関する意見が 34 件と多く、北広島や千歳が企業や球団の誘致で盛り上がっているのに恵庭は取り残されてる感があるなどの記述が見られた。
- ・ 大分類で二番目に多かった「市政全般について」の中では、小分類「市政」に関する意見が 45 件と多く、これは小分類単体でみると、「その他」以外では一番多い意見だった。
- ・ 大分類でも小分類でも「その他」の件数が一番多かった。小分類の「その他」の具体的な内容は、空き家問題や、デジタル化に関する意見が多く見られた。

市政全般に関する意見の分類表

大分類		小分類		大分類		小分類	
1	駅前開発・まちづくりについて	1	まちづくり	8	観光・特産品・資源について	23	観光振興
		2	駅前開発			24	道の駅
		3	商業施設			25	特産品
2	駅の改良・交通の利便性向上について	4	駅			26	花のまち
		5	交通			27	自然環境
		6	バス	9	施設の拡充について	28	娯楽・スポーツ施設
3	除排雪・道路状態の改良について	7	除排雪			29	公園
		8	道路状態			30	図書館
4	福祉・医療費・病院の充実について	9	福祉			31	公共施設
		10	医療費	10	市政全般について	32	市政
		11	病院			33	市役所職員
5	ゴミ処理・衛生について	12	ゴミ(収集日)			34	市役所庁舎
		13	ゴミ(分別)			35	保健センター
		14	ゴミ(ゴミ袋)			36	事業
		15	ゴミ(その他)			37	雇用促進
		16	衛生	11	防犯・防災について	38	防犯対策
6	子育て・教育環境について	17	子育て支援			39	防災対策
		18	学童保育	12	その他	40	自衛隊
		19	教育			41	水道
7	コミュニケーション活動について	20	イベント			42	モラル・マナー
		21	町内会			43	本アンケート
		22	情報発信			44	その他



市政全般に関する意見の分類結果